

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

360度レーザーエッチング加工された神経針の見えやすさの検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月から2019年12月まで昭和大学旗の台病院でファントムを用いて神経針の輝度を測定した症例

2. 研究目的・方法

超音波画面上の神経針の視認性を向上させることが超音波ガイド下神経ブロックを安全かつ確実に行う上で重要な要素の1つであります。特に超音波ガイド下体幹神経ブロックは神経刺激を併用できないことが多く神経針の視認性の重要度が高いことが予測されます。現在、神経針の視認性を向上させるために神経針にさまざまな加工が行われています。Ultraplex 360[®] (B. Braun Japan, Tokyo, X) は針先を360度レーザーエッチング加工した先端角30度の神経針であります。視認性の向上は示唆されるが、通常の神経針と比較してどの程度神経針が見えやすいかを調査した研究はありません。

今回、針先を加工していない先端角30度の同型の神経針と比較してどの程度視認性が向上するかについてファントムを用いて後ろ向きに調査します。

本研究は学術研究であり、「9. 診療録等の調査項目」に記載したデータを取得します。取得したデータは、本研究者間のみ情報を共有します。

診療情報の利用に伴う同意取得の方法：ホームページに研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開し、診療録情報の利用について適切な拒否機会を設けます。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院病院長の実施許可を得た後から2021.3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

被験者の本研究終了後に継続する通常医療活動において活用される従来の診療情報については、医師法等の関連法規に従い保管します。本研究の実施のために匿名化され取得した研究関連情報については、研究責任者あるいは分担研究者の所属する施設のコンピューターを用いて移動媒体内に保存するか、外部から切り離されたコンピューターのハードディスク内に保存します。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピューター及び移動媒体をパスワード管理するなどにより、情報の紛失・漏洩等に

十分配慮した取扱いの上での保管を行います。なお、通常診療に用いる医療情報の保管・破棄は関連法規（医師法）等の規定に従うこととします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部麻酔科学講座

氏名：上嶋 浩順

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8

電話番号：03-3784-8575

研究責任者：医学部麻酔科学講座 上嶋 浩順